2019 年 7 月 25 日

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

（2019 年 6 月〔往航〕速報値）

（公財）日本海事センター 企画研究部

＊文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

Ⅰ.往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

（1）2019 年 6 月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比 4 ヶ月連続の増加となる 0.5%増の 144.5 万 TEU。4－6 月の四半期別では 11 期連続の増加となる 3.8%増の 433.7 万 TEU。一方、1－6 月の累計では前年同期比 2.0%増の 845.9 万 TEU。

（2）国別では、日本（0.4%減）、中国（6.9%減）などが減少となったものの、韓国（10.3%増）、台湾（7.7%増）、ベトナム（33.9%増）、インド（14.9%増）などの主要国は増加。地域別では、ASEAN（26.2%増）、南アジア（14.3%増）ともに増加。

（3）品目別では、「繊維及びその製品」（寄与度 1.0%増）、「おもちゃ」（同 0.5%増）、「履物及び附属品」（同 0.4%増）などが増加に寄与。

（4）日本は、3 ヶ月ぶりの減少となる 0.4%減の 5.7 万 TEU。品目別の 1 位（2018 年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（4.1%減）が 2 ヶ月連続の減少、3 位の「タイヤ及びチューブ」（3.9%減）が 9 ヶ月ぶりの減少。

（5）中国は、2 ヶ月連続の減少となる 6.9%減の 89.3 万 TEU。1 位の「家具及び家財道具」（17.6%減）及び 3 位の「一般電気機器」（2.9%減）が 6 ヶ月連続の減少、7 位の「建築用具及び関連品」（6.6%減）が 2 ヶ月連続の減少。香港は 6 ヶ月連続の減少となる 8.0%減の 2.2 万 TEU。

（6）韓国は、9 ヶ月連続の増加となる 10.3%増の 7.2 万 TEU。1 位の「自動車部品」（12.6%増）が 2 ヶ月ぶりの増加、2 位の「一般電気機器」（13.4%増）が 7 ヶ月連続の増加。

（7）台湾は、4 ヶ月連続の増加となる 7.7%増の 5.8 万 TEU。1 位の「建築用具及び関連品」（2.6%増）が 14 ヶ月連続の増加、3 位の「家具及び家財道具」（22.1%増）が 10 ヶ月連続の増加、4 位の「床材・ブラインド等のプラスティック製品」（10.7%増）が 4 ヶ月連続の増加。

（8）ASEAN は、全体では 38 ヶ月連続の増加となる 26.2%増の 26.2 万 TEU。ベトナムは 39 ヶ月連続の増加となる 33.9%増の 12.0 万 TEU。1 位の「家具及び家財道具」（32.2%増）が 14 ヶ月連続の増加、2 位の「繊維及びその製品」（19.8%増）が 15 ヶ月連続の増加、3 位の「履物及び附属品」（27.0%増）が 2 ヶ月連続の増加。

（9）南アジアは、全体では 12 ヶ月連続の増加となる 14.3%増の 8.2 万 TEU。インドは 12 ヶ月連続の増加となる 14.9%増の 6.1 万 TEU。1 位の「繊維及びその製品」（9.6%増）及び 2 位の「家具及び家財道具」（17.7%増）が 12 ヶ月連続の増加、3 位の「鋼材及びその製品」（10.5 増）が 32 ヶ月連続の増加。

表－1　2019 年 6 月：積国・地域別荷動き

国・地域	往航 荷動量（TEU）	前年比（%）	シェア（%）	1－6 月の累計（TEU）	前年同期比（%）
18 ヶ国・地域　合計	**1,445,366**	**0.5**	**100.0**	**8,458,940**	**2.0**
日　本	**57,124**	**▲0.4**	**4.0**	**340,669**	**3.6**
韓　国	**71,516**	**10.3**	**4.9**	**451,584**	**11.9**
台　湾	**57,541**	**7.7**	**4.0**	**350,595**	**10.7**
中国＋香港　計	**914,441**	**▲6.9**	**63.3**	**5,193,603**	**▲5.2**
中　国	**892,873**	**▲6.9**	**61.8**	**5,068,331**	**▲5.0**
香　港	21,568	▲8.0	1.5	125,273	▲9.3
マカオ	16	▲14.1	0.0	77	▲39.9
ASEAN　計	**262,307**	**26.2**	**18.1**	**1,582,520**	**23.1**
シンガポール	9,749	21.6	0.7	55,168	13.1
フィリピン	10,328	4.4	0.7	66,527	7.4
マレーシア	27,802	28.1	1.9	174,484	22.0
インドネシア	33,060	13.8	2.3	209,800	11.5
タ　イ	52,306	19.0	3.6	320,055	19.6
ベトナム	**120,377**	**33.9**	**8.3**	**705,246**	**30.5**
カンボジア	7,310	48.4	0.5	44,339	38.8
ミャンマー	1,374	215.1	0.1	6,902	110.1
南アジア　計	**82,422**	**14.3**	**5.7**	**539,892**	**11.8**
スリランカ	4,973	45.9	0.3	32,710	38.5
バングラデシュ	8,174	▲2.6	0.6	48,397	▲4.6
パキスタン	8,751	14.1	0.6	55,944	8.2
インド	**60,524**	**14.9**	**4.2**	**402,842**	**12.8**

（注）集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計 18 ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

Ⅱ. 品目別荷動き

(1)往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連3品目(「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスティック製品」）の合計荷動き量は、3ヶ月ぶりの減少となる3.8%減の32.5万TEU（シェア22.5%)。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は3ヶ月ぶりの減少となる6.5%減の21.5万TEU。「床材・ブラインド等のプラスティック製品」は4ヶ月連続の増加となる4.4%増の7.1万TEU、「建築用具及びその関連品」は3ヶ月ぶりの減少となる2.3%減の3.9万TEU。

(2)「繊維及びその製品」は14ヶ月連続の増加となる9.8%増の16.4万TEU。

(3)「一般電気機器」は2ヶ月ぶりの増加となる0.9%増の10.0万TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は4ヶ月連続の増加となる5.5%増の4.0万TEU。

(4)「自動車部品」は2ヶ月連続の減少となる2.3%減の5.1万TEU、「タイヤ及びチューブ」は2ヶ月ぶりの減少となる6.4%減の3.9万TEU。

表－2 往航:2019年6月の品目別荷動き(上位10品目)

品 目 名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1－6月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	214,947	▲6.5	▲1.0	0.8	14.9
2. 繊維及びその製品	164,288	9.8	1.0	7.9	11.4
3. 一般電気機器	100,117	0.9	0.1	0.1	6.9
4. 床材・ブラインド等のプラスティック製品	71,358	4.4	0.2	8.4	4.9
5. 自動車部品	51,307	▲2.3	▲0.1	1.3	3.5
6. 履物及び附属品	45,560	15.3	0.4	6.5	3.2
7. おもちゃ	44,861	17.8	0.5	8.6	3.1
8. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	39,678	5.5	0.1	7.4	2.7
9. 建築用具及び関連品	39,167	▲2.3	▲0.1	▲1.1	2.7
10. タイヤ及びチューブ	39,100	▲6.4	▲0.2	2.9	2.7

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表－3　往航:コンテナ運賃の推移(2017 年／2018 年対比)

(1)EASTBOUND　(Drewry:Container Freight Rate Insight)　(単位：USD/TEU,USD/FEU)　2019年1月9日

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Shanghai	Los Angeles	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120
(China)	(U.S.A)		40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010	2,100	1,720
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590	2,720	2,190
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%	-20.7%	-10.9%	4.3%	18.5%	20.7%	37.9%	62.1%	66.7%	53.6%
			40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%	-13.9%	-10.7%	5.5%	16.4%	22.0%	40.2%	61.9%	67.9%	54.2%
Shanghai	New York	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700
(China)	(U.S.A)		40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030	2,000	2,280	2,750	2,910	2,800	3,070	2,580
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510	2,530	2,880	3,480	3,720	3,540	3,840	3,320
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%	-16.5%	-6.9%	4.2%	14.6%	20.1%	44.1%	67.7%	73.4%	51.8%
			40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%	-13.4%	-7.7%	4.5%	14.3%	19.6%	48.8%	64.7%	69.2%	55.9%
Yokohama	Los Angeles	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470
(Japan)	(U.S.A)		40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690	1,880	1,790	2,100	1,680	1,850
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110	2,360	2,140	2,620	1,970	2,270
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%	-4.5%	-3.1%	-2.5%	11.9%	6.8%	11.9%	37.3%	9.8%	25.9%
			40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%	-4.2%	-2.1%	-2.6%	14.7%	9.8%	9.7%	40.1%	5.3%	26.1%
Yokohama	New York	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410
(Japan)	(U.S.A)		40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570	2,880	2,760	2,880	2,550	2,790
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140	3,550	3,210	3,520	2,930	3,400
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%	-4.5%	-16.1%	-9.7%	5.3%	4.7%	10.8%	24.7%	11.8%	15.8%
			40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%	0.0%	-15.2%	-8.5%	8.3%	7.3%	11.1%	28.0%	8.5%	18.1%

表－4　往航:コンテナ運賃の推移(2018 年／2019 年対比)

(1)EASTBOUND　(Drewry:Container Freight Rate Insight)　(単位：USD/TEU,USD/FEU)　2019年7月2日

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Shanghai	Los Angeles	2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010	2,100	1,720
(China)	(U.S.A)		40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590	2,720	2,190
		2019年	20ft	1,740	1,720	1,400	1,520	1,350	1,360	0	0	0	0	0	0
			40ft	2,240	2,180	1,750	1,910	1,730	1,720	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	37.0%	26.5%	32.1%	42.1%	9.8%	13.3%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	37.4%	25.3%	24.1%	33.6%	14.6%	11.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Shanghai	New York	2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010	2,100	1,720
(China)	(U.S.A)		40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590	2,720	2,190
		2019年	20ft	2,630	2,540	2,270	2,380	2,330	2,250	0	0	0	0	0	0
			40ft	3,330	3,250	2,850	3,000	2,920	2,800	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	107.1%	86.8%	114.2%	122.4%	89.4%	87.5%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	104.3%	86.8%	102.1%	109.8%	93.4%	81.8%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Yokohama	Los Angeles	2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690	1,880	1,790	2,100	1,680	1,850
(Japan)	(U.S.A)		40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110	2,360	2,140	2,620	1,970	2,270
		2019年	20ft	1,800	1,840	1,560	1,850	1,420	1,690	0	0	0	0	0	0
			40ft	2,110	2,270	1,920	2,230	1,730	2,030	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	16.1%	15.0%	4.0%	23.3%	-8.4%	9.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	11.6%	15.8%	4.9%	21.9%	-8.0%	8.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Yokohama	New York	2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570	2,880	2,760	2,880	2,550	2,790
(Japan)	(U.S.A)		40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140	3,550	3,210	3,520	2,930	3,400
		2019年	20ft	2,800	2,760	2,470	2,820	2,810	2,670	0	0	0	0	0	0
			40ft	3,220	3,360	2,980	3,400	3,300	3,310	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	0.7%	0.4%	-2.8%	10.2%	17.1%	10.3%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	-4.7%	1.8%	-2.6%	6.3%	13.8%	13.4%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%

表－5　米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

	往　航			復　航		
米国内地域 集計年（月）	西岸揚 （%）	東岸揚 （%）	ガルフ揚 （%）	西岸積 （%）	東岸積 （%）	ガルフ積 （%）
2017 年 1 月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2 月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3 月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4 月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5 月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6 月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7 月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8 月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9 月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10 月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11 月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12 月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018 年 1 月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2 月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3 月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4 月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5 月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6 月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7 月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8 月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9 月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10 月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11 月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12 月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3
2019 年 1 月	59.7	35.9	4.4	57.5	36.1	6.5
2 月	59.5	36.0	4.4	56.4	37.7	5.9
3 月	56.1	38.1	5.9	56.7	37.0	6.3
4 月	60.2	34.6	5.2	55.9	37.5	6.6
5 月	60.3	35.2	4.4			
6 月	60.7	34.1	5.2			

2019 年 9 月 27 日

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

（2019 年 6 月〔復航〕速報値）

（公財）日本海事センター 企画研究部

＊文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

Ⅰ.復航（米国→アジア 18 ヶ国・地域）の荷動き

（1）2019 年 6 月の米国からアジア（18 ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比 2 ヶ月連続の減少となる 3.3%減の 54.2 万 TEU。4－6 月の四半期別では 3 期ぶりの増加となる前年同期比 2.0%増の 177.3 万 TEU。1－6 月の累計では前年同期比 0.2%減の 349.5 万 TEU。

（2）国別でみると、日本（3.0%増）、韓国（0.8%増）、ベトナム（11.3%増）、インド（28.7%増）などは増加となったものの、中国（19.3%減）、台湾（2.6%減）などが減少。地域別では、ASEAN（1.5%増）、南アジア（21.1%増）ともに増加。

（3）品目別では「木材及びその製品」（寄与度 3.0%減）、「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（同 1.5%減）、「採油用の種及び油脂」（同 0.7%減）、「動物用飼料」（同 0.6%減）、「野菜及び種苗類」（同 0.6%減）などが減少の要因。

（4）日本は 2 ヶ月ぶりの増加となる 3.0%増の 6.6 万 TEU。品目別の 1 位（2018 年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（14.2%増）が 6 ヶ月連続の増加、4 位の「野菜及び種苗類」（1.8%増）及び 5 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（6.5%増）が 2 ヶ月ぶりの増加。

（5）中国は、27 ヶ月連続の減少となる 19.3%減の 14.7 万 TEU。1 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（22.9%減）が 24 ヶ月連続の減少、2 位の「木材及びその製品」（42.7%減）が 12 ヶ月連続の減少、4 位の「動物用飼料」（32.1%減）が 11 ヶ月連続の減少。香港は 2 ヶ月ぶりの増加となる 16.1%増の 1.9 万 TEU。

（6）韓国は 6 ヶ月連続の増加となる 0.8%増の 5.5 万 TEU。2 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（11.4%増）が 17 ヶ月連続の増加、3 位の「肉及びその調整品」（2.8%増）が 2 ヶ月ぶりの増加、5 位の「果物類」（23.6%増）が 3 ヶ月ぶりの増加。

（7）台湾は 2 ヶ月連続の減少となる 2.6%減の 4.8 万 TEU。1 位の「採油用の種及び油脂」（51.5%減）が 11 ヶ月連続の減少、2 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（3.5%減）が 3 ヶ月連続の減少、3 位の「鋼材及びその製品」（8.3%減）が 5 ヶ月連続の減少。

（8）ASEAN は、全体では 21 ヶ月連続の増加となる 1.5%増の 14.3 万 TEU。ベトナムは、4 ヶ月連続の増加となる 11.3%増の 4.1 万 TEU。ベトナム揚げで 1 位の「動物用飼料」（34.9%増）が 5 ヶ月ぶりの増加、2 位の「繊維及びその製品」（5.4%増）が 2 ヶ月ぶりの増加、3 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（12.1%増）が 4 ヶ月連続の増加、4 位の「木材及びその製品」（20.5%増）が 6 ヶ月連続の増加。

（9）南アジアは、全体では 2 ヶ月ぶりの増加となる 21.1%増の 6.2 万 TEU。インドは 3 ヶ月連続の増加となる 28.7%増の 4.9 万 TEU。インド揚げで 1 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（24.3%増）及び 4 位の「家具及び家財道具」（35.5%増）が 2 ヶ月ぶりの増加、2 位の「繊維及びその製品」（227.6%増）及び 6 位の「金属スクラップ」（47.6%増）が 3 ヶ月連続の増加。

（10）2019 年 6 月のインバランス（往航を 100 とした場合の復航の比率）は、前月比 1.3 ポイント悪化の 37.5%。インバランスを国・地域別に捉えると日本 115.9%、韓国 77.1%、台湾 84.3%、ASEAN 54.8%、南アジア 74.5%。インバランスに最も影響を与える中国＋香港は 18.3%。

表－1　2019 年 6 月：揚国・地域別荷動き

	復　航				
国 ・ 地 域	荷動量（TEU）	前年比（%）	シェア（%）	1－6 月の累計（TEU）	前年同期比（%）
18 ヶ国・地域　合計	**541,695**	**▲3.3**	**100.0**	**3,494,725**	**▲0.2**
日　本	**65,965**	**3.0**	**12.2**	**405,836**	**10.1**
韓　国	**55,008**	**0.8**	**10.2**	**398,418**	**20.4**
台　湾	**48,429**	**▲2.6**	**8.9**	**327,446**	**9.3**
中国＋香港　計	**166,570**	**▲16.4**	**30.7**	**1,054,261**	**▲19.3**
中　国	**147,475**	**▲19.3**	**27.2**	**927,905**	**▲22.4**
香　港	19,095	16.1	3.5	126,356	14.5
マカオ	32	258.3	0.0	213	2.7
ASEAN　計	**143,426**	**1.5**	**26.5**	**908,370**	**13.5**
シンガポール	14,484	5.5	2.7	94,835	28.6
フィリピン	11,233	1.7	2.1	70,148	5.7
マレーシア	22,522	19.8	4.2	138,042	42.0
インドネシア	27,589	▲26.0	5.1	203,281	7.4
タ　イ	21,752	10.6	4.0	131,687	3.5
ベトナム	**40,963**	**11.3**	**7.6**	**243,987**	**10.3**
カンボジア	2,162	2.1	0.4	13,644	▲3.0
ミャンマー	2,722	47.4	0.5	12,746	13.6
南アジア　計	**62,265**	**21.1**	**11.5**	**400,181**	**1.0**
スリランカ	2,256	▲0.5	0.4	15,077	20.5
バングラデシュ	3,819	22.4	0.7	20,719	▲19.0
パキスタン	7,464	▲8.7	1.4	70,933	▲2.4
インド	**48,726**	**28.7**	**9.0**	**293,452**	**2.8**

（注）集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計 18 ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

Ⅱ. 復航の品目別荷動き

（1）復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は 8 ヶ月連続の減少となる 9.2%減の 8.2 万 TEU。
（2）「動物用飼料」は 2 ヶ月連続の減少となる 7.3%減の 4.3 万 TEU。
（3）「繊維及びその製品」は 2 ヶ月ぶりの増加となる 18.8%増の 3.6 万 TEU。
（4）「木材及びその製品」は 11 ヶ月連続の減少となる 33.0%減の 3.4 万 TEU。
（5）「家具及び家財道具」は 2 ヶ月ぶりの増加となる 4.1%増の 2.7 万 TEU。

表－2　復航：2019 年 6 月の品目別荷動き（上位 10 品目）

品　目　名	荷動量（TEU）	前年比（%）	寄与度（%）	1－6 月前年同期比（%）	シェア（%）
1.　紙、板紙類及びその製品（古紙含む）	**81,659**	**▲9.2**	**▲1.5**	**▲12.3**	**15.1**
2.　動物用飼料	**43,491**	**▲7.3**	**▲0.6**	**▲4.5**	**8.0**
3.　繊維及びその製品	**36,259**	**18.8**	**1.0**	**3.0**	**6.7**
4.　木材及びその製品	**34,148**	**▲33.0**	**▲3.0**	**▲25.6**	**6.3**
5.　家具及び家財道具	**26,942**	**4.1**	**0.2**	**2.2**	**5.0**
6.　レジン等の合成樹脂	**24,437**	**16.3**	**0.6**	**44.5**	**4.5**
7.　肉及びその調整品	**19,679**	**10.1**	**0.3**	**4.7**	**3.6**
8.　金属スクラップ	**18,928**	**▲4.1**	**▲0.1**	**1.3**	**3.5**
9.　採油用の種及び油脂	**17,764**	**▲17.1**	**▲0.7**	**▲3.7**	**3.3**
10. 野菜及び種苗類	**15,494**	**▲19.0**	**▲0.6**	**▲9.4**	**2.9**

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表－3　復航:コンテナ運賃の推移(2017 年／2018 年対比

(2)WESTBOUND　(Drewry:Container Freight Rate Insight)　(単位：USD/TEU,USD/FEU)　2019年1月9日

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	600	600	640	650	670	640	620	640	630	630	640	660
			40ft	760	750	780	780	780	760	740	750	750	750	770	770
		2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640	700	710	710
			40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760	820	820	820
		前年比	20ft	6.7%	6.7%	-1.6%	-4.6%	-1.5%	7.8%	21.0%	0.0%	1.6%	11.1%	10.9%	7.6%
			40ft	1.3%	2.7%	-5.1%	-5.1%	2.6%	9.2%	13.5%	0.0%	1.3%	9.3%	6.5%	6.5%
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	960	970	940	960	960	930	910	920	900	900	910	910
			40ft	1,180	1,200	1,170	1,180	1,160	1,120	1,090	1,110	1,080	1,080	1,090	1,090
		2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790	840	880	880
			40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030	970	1,010	1,020
		前年比	20ft	-5.2%	-6.2%	-6.4%	-8.3%	-9.4%	-5.4%	-9.9%	-10.9%	-12.2%	-6.7%	-3.3%	-3.3%
			40ft	-6.8%	-8.3%	-8.5%	-10.2%	-10.3%	0.9%	-1.8%	-3.6%	-4.6%	-10.2%	-7.3%	-6.4%
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	820	820	800	850	850	870	860	810	830	810	850	860
			40ft	1,050	1,050	1,020	1,090	1,090	1,100	1,090	1,040	1,040	1,020	1,060	1,060
		2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900	980	900	930
			40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190	1,270	1,160	1,210
		前年比	20ft	6.1%	7.3%	10.0%	3.5%	-7.1%	-9.2%	10.5%	13.6%	8.4%	21.0%	5.9%	8.1%
			40ft	2.9%	3.8%	6.9%	1.8%	-8.3%	-8.2%	12.8%	15.4%	14.4%	24.5%	9.4%	14.2%
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	1,150	1,210	1,160	1,240	1,240	1,250	1,240	1,150	1,150	1,140	1,190	1,200
			40ft	1,430	1,510	1,470	1,570	1,570	1,590	1,580	1,460	1,460	1,440	1,440	1,450
		2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370	1,400	1,330	1,350
			40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790	1,820	1,690	1,730
		前年比	20ft	8.7%	3.3%	8.6%	0.8%	-1.6%	-2.4%	10.5%	17.4%	19.1%	22.8%	11.8%	12.5%
			40ft	3.5%	-2.0%	1.4%	3.2%	-4.5%	-6.3%	11.4%	21.9%	22.6%	26.4%	17.4%	19.3%

表－4　復航:コンテナ運賃の推移(2018 年／2019 年対比)

(2)WESTBOUND

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640	700	710	710
			40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760	820	820	820
		2019年	20ft	730	710	700	700	690	690	690	680	0	0	0	0
			40ft	840	810	790	800	790	800	790	780	0	0	0	0
		前年比	20ft	14.1%	10.9%	11.1%	12.9%	4.5%	0.0%	-8.0%	6.3%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	9.1%	5.2%	6.8%	8.1%	-1.3%	-3.6%	-6.0%	4.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790	840	880	880
			40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030	970	1,010	1,020
		2019年	20ft	880	780	770	770	870	860	870	870	0	0	0	0
			40ft	1,020	940	930	930	1,060	1,050	1,070	1,060	0	0	0	0
		前年比	20ft	-3.3%	-14.3%	-12.5%	-12.5%	0.0%	-2.3%	6.1%	6.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	-7.3%	-14.5%	-13.1%	-12.3%	1.9%	-7.1%	0.0%	-0.9%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900	980	900	930
			40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190	1,270	1,160	1,210
		2019年	20ft	960	960	1,000	1,170	980	960	960	930	0	0	0	0
			40ft	1,250	1,280	1,290	1,510	1,270	1,250	1,250	1,220	0	0	0	0
		前年比	20ft	10.3%	9.1%	13.6%	33.0%	24.1%	21.5%	1.1%	1.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	15.7%	17.4%	18.3%	36.0%	27.0%	23.8%	1.6%	1.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370	1,400	1,330	1,350
			40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790	1,820	1,690	1,730
		2019年	20ft	1,390	1,360	1,370	1,320	1,340	1,490	1,370	1,350	0	0	0	0
			40ft	1,750	1,770	1,780	1,720	1,760	1,790	1,660	1,370	0	0	0	0
		前年比	20ft	11.2%	8.8%	8.7%	5.6%	9.8%	22.1%	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	18.2%	19.6%	19.5%	6.2%	17.3%	20.1%	-5.7%	-23.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%

Ⅳ. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

	往　航			復　航		
米国内地域 集計年（月）	西岸揚 （%）	東岸揚 （%）	ガルフ揚 （%）	西岸積 （%）	東岸積 （%）	ガルフ積 （%）
2017 年 1 月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2 月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3 月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4 月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5 月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6 月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7 月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8 月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9 月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10 月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11 月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12 月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018 年 1 月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2 月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3 月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4 月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5 月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6 月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7 月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8 月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9 月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10 月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11 月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12 月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3
2019 年 1 月	59.7	35.9	4.4	57.5	36.1	6.5
2 月	59.5	36.0	4.4	56.4	37.7	5.9
3 月	56.1	38.1	5.9	56.7	37.0	6.3
4 月	60.2	34.6	5.2	55.9	37.5	6.6
5 月	60.3	35.2	4.4	55.6	37.2	7.3
6 月	60.7	34.1	5.2	56.3	36.7	7.0